



園だより 8月号

YMC A 保育園ねがい
2019年8月2日 発行

「今のときを喜びをもって生きる」

この間の日曜日NHKの大河ドラマ「いだてん」を見ていたら、ロサンゼルスオリンピックに出場する水泳選手が練習する場所として、千代田区神田のYMCAプール（現在はありません）と紹介されていました。聞いていたとおり、男性は褌や水着を身につけず裸で、泳いでいたと説明がありました。実際見たわけではありませんが、“そうそう”とテレビに向かって思わず言っていた私です。



7月1日入園した28名、8月1日から入園した10名と合わせて、38名の子どもたちが「YMCA保育園ねがい」に集まってくれました。この33のご家庭が毎日園に通いながら、年を重ねていき、私のようにYMCAをどこかで目にしたり聞いたりして、“知っている”と懐かしく思っていただけの園にしたいと思っています。

皆さんが初めての1週間体験した導入保育。慣らし保育という言葉もありますが、YMCAでは子どもを慣らすのではなく、私たち大人が子どもを知り、理解していく期間と捉えています。お家の方にも園での生活について知っていただき、お子さんを預けることに対する不安な気持ちを少しでも早く安心に変えていっていただければと思っています。

東京YMCAの方針の中に、「やさしい心」「豊かな知性」「すこやかな身体」を培います、とあります。この3つのバランスのとれた成長を願い、“主体的に生きる力”と“今を生きる喜び”と“感謝する心”をしっかりと育む保育を行っていきたくと考えています。その為には、子どもの育ちの土台である、“子どもが愛されていると感じる保育”を大切にしていきます。子どもは、愛された充実感や、ありのまま自分を受け入れられる経験を通し、「自分が大好き！みんなが大好き！」という気持ちが生まれます。「キリスト教保育誌」に以下のようなことが書かれていました。“野の花は一夜の命しかもたない、はかないものであるにも関わらず、美しさを持っている。”神のお与えになるままの姿で生きることがその美しさの原因です。本当に自然は、不思議なまでにきれいな色の花やかわいい虫がいる、と思う時があります。子どもたちもそのままの自分でいいのです。心身の発達が最も著しい乳幼児期に“子どもが自分自身を大切なひとり”として感じることができるようにあたたかく見守り育ててまいります。保護者の皆様にもご協力いただき、安心して楽しく過ごせる場となるよう、心をこめて保育させていただきます。

職員一同、どうぞよろしくお願いたします。 (園長 高橋 里香)



● 8月の行事予定 ●

- 1日(木)～ 8月入園児導入保育
- 7日(水) 身体測定
- 23日(金) 消火避難訓練
- 27日(火) 園庭開放
ほっとするコーヒーやさん
- 29日(木) 誕生会(各クラス)
内科検診(0歳児)

ほっとするコーヒーやさん

8月27日(火) 16:30～18:00



いこいのへやでお待ちしています!

※7月30日(火)第1回目を行いました。
6組の親子がお迎え後に来てくれました。子どもたちは好きな絵本を見たり、電車で遊んだりして、お母さんたちは、クラスを超えての交流や職員との会話を楽しんでいました。私たちも「ほっとするひと時を過ごせました。」

●2019年度●
年齢別の保育目標



- 0歳)・愛情豊かな、温かい保育者の関わりの中で生理的欲求が満たされ、依存欲求が満たされ、信頼関係の基礎が芽生え、自己表現が活発になる。
 - ・色々なものを見たり、触れたりしながら、身の回りの物への興味や好奇心が芽生える。
 - ・家庭と連携を密にし、一人ひとりが安定した生活リズムで機嫌よく過ごす。
- 1歳)・安心できる保育者との関わりの中で自分の気持ちを表し、それを肯定的に受け止めてもらうことで愛されていることを経験する。
 - ・一人遊びや探索活動が十分にできる環境の中で、周りの人や物に興味や関心を広げる。
 - ・保育者の愛情豊かな関わりの中で、自分でしようとする気持ちが芽生える。
- 2歳)・自我が芽生える中で、自分の感情を受け止めてもらいながら友だちの存在に気づき、友だちとの関わりに葛藤したり、楽しんだりしながら、他者の存在に気付く。
 - ・周りの人や物に対する好奇心を十分に体験し、見立て遊びや模倣遊びなどを楽しむ。
 - ・保育者の温かな援助に支えられ、身の回りのことを自分でやってみようとする。



- 3歳)・友だちと関わる楽しさや、葛藤を経験する中で、他者への共感を育む。
 - ・身近な事物、事業への関心が広がり、生き活きと活動する。
 - ・ゆったりと生活する中で、基本的な生活習慣や生活に必要な技を自分なりに習得し、徐々に身につける。
- 4歳)・保育者や友だちと生活する中で、葛藤しながら相手の気持ちに気づくと同時に、自分の気持ちを調整(自己調整力)できるようになったり、コミュニケーション力を身につける。
 - ・さまざまな経験を通して日常生活に必要な習慣、態度、言葉を少しずつ身につける。
 - ・生活に必要な行動の意味を分かろうとしたりしながら、自分なりに見通しをもって生活する。
- 5歳)・生活を通して社会事象に興味や関心を持ち、遊びや活動を通して豊かな心情や知的な好奇心を高める。
 - ・さまざまな遊びの経験を通して達成感を味わったり、自分に自信を持ち、自己肯定感を育む。
 - ・経験を通して得た知識や判断力をもって、生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。また、その意味を理解する。
 - ・友だちを尊重したり、協力しあいながら、創意工夫して遊んだり活動に参加したりする。

“フェアキャスト学校連絡網”について.....



保育園ねがいで、緊急連絡網(緊急時に園から情報を伝えるシステム)の登録ガイドを配布しています。無事登録はお済みでしょうか。
9月27日(金)の引渡し訓練の際に一斉メールをお送りします。
詳しいことは、9月に引渡し訓練のお手紙を配布しますので、ご確認ください。
それまでにフェアキャストの登録をお願い致します。

● ご意見箱について ●

ご意見箱をご利用下さい!

保育園ねがいで、「子ども・保護者・保育者と共に育ち合う園」として、事務所側出入口に“意見箱”を設置しています。子どもの成長についての相談や、園の運営に関するご提案・ご意見、また保育士への「声援」をお聞かせ下さい。どうぞ、お気軽にご利用下さい。

(無記名でも結構です。)

● 消火避難訓練実施しました ●

7月26日(金)消火避難訓練を実施しました。
ひかり組さんや初めて保育園に通うお友だちは、初体験。「地震です」という声に驚き、いつも一緒にいる大人の人に守られながら、各クラスの安全な場所に集まり、防災頭巾を被り、非難靴または靴下を履き地震が止まるのを待ちました。並行して調理室では火事が発生し、初期消火で消えたという訓練もしました。
慣れない頭巾を嫌がり泣いている子もいましたが、無事第1回目の訓練が終了しました。迅速に避難ができるよう、毎月の訓練を重ねて、子どもたちの安全を守っていきます。